
2022年度 事業報告書
2023年度 事業計画書

第60回 定時総会開催要項

1. 開会

2. 開会挨拶

3. 議事

第1号議案 2022年度事業報告及び決算について承認を求める件

第2号議案 報告事項

(1) 2023年度事業計画

(2) 2023年度収支予算

第3号議案 その他

(1) 新会員承認の件

(2) その他協議事項

4. 閉会挨拶

5. 閉会

日 時 2023年6月10日（土） 午後5時開始

場 所 一般社団法人 京都微生物研究所 本社屋2階会議室

京都市山科区川田御出町3番地の4

目 次

2022年度事業報告	2
I 2022年度の業務概況	
1 法律に基づく試験、検査等	3
2 分析試験及び調査研究	7
3 講習会、講演会、研修会の開催	7
4 研究、調査及び技術指導	7
5 行政、各種団体及び研究会への協力	7
6 品質保証体制の強化充実	7
II 事業概要	
1 法律に基づく試験、検査等	9
2 分析試験及び調査研究	28
3 講習会、講演会、研修会の開催	29
III 行政、各種団体及び研究会への協力	
1 行政への協力	30
2 各種団体及び研究会への委員等の派遣	30
IV 品質保証体制の強化充実	
1 ISO15189（臨床検査室認定）	34
2 医療関連サービスマーク	34
3 公益社団法人 全国労働衛生団体連合会労働衛生サービス機能評価	35
4 ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）	35
5 水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）	35
6 内部監査	35
7 外部精度管理への参加	36
8 教育訓練	37
V 総務・庶務・情報関係	
1 会議	41
2 業務監査等	42
3 施設・設備及びIT関連システムの整備拡充	42
4 組織	46
5 会 員	47
2023年度事業計画	49

2022年度事業報告

I 2022年度の業務概況

2022年度も新型コロナウイルス感染症は猛威をふるい、世界累計感染者数が6億人を突破した。世界経済においては、2022年の世界経済成長率3.4%（推定値）は、2000～2019年の平均である3.8%を下回った。ロシアのウクライナでの戦争が長引き、黒海封鎖の影響も受け、食料価格が高騰するなど、世界経済にも悪影響を与えた。11月に中東では初開催となるサッカーのワールドカップ（W杯）カタール大会が開幕し、日本は予選リーグを突破しベスト16へ駒を進めたが、惜しくもベスト8への進出はならなかった。アルゼンチンが36年ぶりの優勝を果たした大会であった。中国最大の経済都市・上海で新型コロナ感染拡大を受け、住民の外出を原則禁止するロックダウンが始まり、日本企業の現地工場でも休業が相次ぎ、サプライチェーンに大きく影響を与えた一年であった。

当所においては、本部ラボの本稼働となる中期事業計画の2年目を迎え、各部門は3大戦略の骨子を軸に奔走した一年となった。

臨床事業においては、事業効率を求めた重点施策の一つである“オーダリングシステム”への進捗が思うほど進まず、人員の停滞化を招いた。2022年度は診療報酬の改定、同業他社との競合激化、更には新型コロナウイルスPCR検査の診療報酬見直し等の影響を受け、臨床事業は大幅な収益減となった一年であった。

環境衛生事業は、分析装置の更新・立上げ・稼働、新システムの安定稼働並びに次世代検査員の育成と人材確保をテーマに2022年度をスタートしたが、売手市場の煽りを受け検査員の確保が非常に困難な年度となった。人員不足を補うため、分析経験の実績がある派遣社員を登用したが、人件費の高騰と分析業務の受注減少により、前年度の収益確保には至らなかった。

健康診断事業では、新型コロナ感染の影響で中断されていた特定健康診断事業が、感染防止対策も施された環境の下、5月より集合健診形式にて再開され、受注し実施した。付属診療所においては、保険診療を3月より始め、以降受診者数の増加に努めた。また婦人科検診において、2Dによる乳房X線撮影から、より精度の高い3D撮影機能を搭載した新たな乳房X線撮影装置を導入した。本格的な実稼働は次年度からとなるが、より一層地域住民や社会への貢献を果たす予定である。健康診断事業の収益については増収となった。

公衆衛生事業については、保菌検査は少なからず今年度もコロナ禍の影響により、飲食店の閉店・休業があり、コロナ禍前の状況には戻っていない。しかし学童・学校検診の検尿については、コロナ禍前の状態にまで順調に回復したため、公衆衛生事業全体の収益としては横ばいであった。

新本部ラボ稼働の初年度は、2021年度にも増して非常に厳しい年度であったが、後手に回ることが無いよう常に状況を見極め、組織体制・インフラ整備に着手した結果、本年度も当初の事業計画を変更せずに事業運営を継続できた。

1 法律に基づく試験、検査等

(1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として：

2年以上かけ進めてきた検査システムの更新、オートメーション化した装置を導入した「本部ラボ」が2022年4月に稼働した。新検査室は多くの検査工程において自動化、システム化することにより省力化をはかり、業務効率を高めた。高機能の新検査システムによりヒューマンエラーの低減をはかり、精度及び信頼性の向上に努めた。

- ・ 生化学的及び免疫学的検査

オートメーションシステムの導入により、生化学的及び免疫学的検査に要するTATの短縮が実現した。感度の高い検査方法への変更、最新の分析装置への更新により、精度の高い結果報告を可能とした。

- ・ 微生物学的検査

薬剤感受性試験のセット薬剤の見直しを行う事により、各顧客のニーズに対応した。また、各顧客のICT委員会への情報提供を行った。JANIS事業へ新たに参加される顧客に対してアドバイスした。

- ・ 新型コロナウイルスPCR検査

第6波、第7波と検査数は増加し、第7波ではオミクロン変異株「B.A.5」が猛威を振るい、さらに検査数は増えた。業務環境および人員の運用法の改善を行った結果、遅延なく報告を行い、迅速な診断に寄与した。

- ・ 臨床情報室

過去にあった顧客からの問合せ内容をまとめ、「問合せ検索」を新規作成し、臨床情報の共有に努めた。

(2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として：

- ・ 濃度（水質、大気、土壌）

水質関係の検査は、河川水、工場排水、生活排水（浄化槽排水等）検査の単独依頼のほか、市町村が行う入札物件や、建設業者およびコンサルタント業者からの依頼で行う環境調査、アセスメントなどの総合的な調査のなかで行う水質検査等を実施した。

大気関係の検査は、ボイラー、焼却炉等排ガス検査の単独依頼のほか、各市町村が行う入札物件の総合環境調査の大気及び発生ガス分析を実施した。

産業廃棄物関係の検査は、土壌、底質、産業廃棄物の溶出検査、成分検査の単独依頼のほか、市町村、建設業者、コンサルタント業者からの依頼で行う環境調査、アセスメントなどの総合的な調査のなかで行う溶出検査等を実施した。

- ・ 音圧レベル
音圧レベルの計量証明検査実施数は、2件であった。
- ・ 特定濃度（ダイオキシン類等）
特定濃度（ダイオキシン類等）の実施数（再委託数）は、48件であった。

(3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として：

食品、食品添加物、器具・容器包装等の試験検査の依頼はなかった。

一般食品関係の検査件数は、自主認定検査（かんすい）において、検査実施数は前年度比9.9%増加した。食品衛生検査（微生物学的検査）実施数は、前年度比15.9%減少した。栄養成分及び添加物検査、残留農薬等理化学検査の検査実施数は、前年度比16.5%減少した。食品関連施設の総合衛生管理に関する拭き取り検査実施数は、前年度比16.7%増加した。

(4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として：

- ・ 水道事業者依頼の上水道、簡易水道等の水道基準項目、農薬及びクリプトスピロジウム等の水質検査を実施した。今年度の依頼件数は3,932件であった。
- ・ 専用水道設置者依頼の水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、前年度比16.1%減少した。
- ・ ビル管理法に定められた対象施設の水質検査及び自主水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、2,058件であった。
- ・ ビル管理法以外、その他各種水質検査や個人宅の地下水及び井戸水の水質検査を実施した。今年度の依頼件数は、7,882件であった。

(5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として：

貯水槽水道の施設維持管理検査を京都府、大阪府（枚方市・高槻市）、滋賀県及び奈良県で実施した。

(6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として：

浄化槽法第57条第1項の規定に基づき、京都府内の指定区域における浄化槽施設において、水質に関する検査を実施、併せて啓発指導を行う等、環境保全対策に協力した。

(7) 「作業環境測定法」に基づく作業環境測定登録機関として：

労働者の職場環境を守る観点から、労働者の健康診断とともに。作業環境測定の受託業務の市場拡大を図った。

(8) 「労働安全衛生法」に基づく医療機関として：

新型コロナウイルス感染症による健康診断の延期や中止の影響もあったが、本年度の健診は、ほぼ実施できた。しかしながら、受診者の健診受診を控える傾向は強かった。

厳しい状況の中でも、健診事業の一層の充実をはかる事を基本方針として、次の事項を重点課題として取り組んだ。

- ・ 協会けんぽ生活習慣病予防健診業務の充実
出張健診は、新規に8件、前年度より3,421人減少の18,325人に実施した。
来所健診は、新規に34件、前年度より120人増加の2,071人に実施した。
- ・ 労働安全衛生法定期健康診断業務の充実
出張健診は、新規に8件、前年度より4,239人増加の35,200人に実施した。
来所健診は、新規に34件、前年度より223人増加の2,574人に実施した。
- ・ 来所健診業務の充実
定期健康診断は、前年度より343人増加の5,791人に実施した。
婦人科マンモグラフィは、前年度より42人増加の381人に実施した。
子宮がんは、前年度より53人増加の427人に実施した。
胃部内視鏡は、前年度より15人増加の720人に実施した。
腹部超音波は、前年度より118人増加の691人に実施した。
- ・ 北部地域の健診業務の充実
新型コロナウイルス感染症の影響により、受診者の受診控えがあったが、予定通り丹後、福知山、舞鶴の各労働基準協会の健診を実施した。
受診者数は前年度より5,804人減少した。
- ・ ストレスチェック検査の充実
事業所数78社 8,444人のストレスチェック検査を実施した。前年に比べて3社減少し、753人減少した。
- ・ 保健指導の充実
前年度より12人減少の122人に保健指導を実施した。
- ・ ISO27001のマネジメントシステムを運用し情報セキュリティ向上に努めた。
- ・ 全国労働衛生団体連合会が行う労働衛生サービス機能評価の認定を受けた。
- ・ 顧客の満足が得られる健診の体制づくり
顧客アンケート調査を実施し、待ち時間の短縮や健診実施日および健診時間を増やし、顧客の要望に応えた。

- ・ 健康診断に関わる項目の一層の充実
当所独自の人間ドックを拡大するために、精度の向上と積極的な営業に努めた。

(9) 「高齢者医療確保法」に基づく医療機関として：

保険者の加入者に対する実施計画に基づき、京都府下の自治体の加入者を対象に、特定健康診査・特定保健指導を実施した。

地域健康診断を実施した結果は次のとおりである。

- ・ 地区医師会等による地域住民健康管理の集団特定健康診査に協力した。
(京都市) 山科区、南区、左京区、右京区(含京北)、下京区、中京区
(京都府<京都市を除く>) 舞鶴市
- ・ 京都市個別健康診査及び特定保健指導を実施した。
- ・ 京都市国保ドック健診を42件実施した。
- ・ 後期高齢者ドック健診を7件実施した。

(10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査として：

- ・ 京都府内の高等学校10校の生徒を対象に、総合健康診断を実施した。
- ・ 京都府内の大学6校の学生を対象に、総合健康診断を実施した。
- ・ 草津市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 栗東市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 豊岡市教育委員会の依頼を受け、小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 京都府医師会の依頼を受け、京都市左京区の小・中学生の心電図検査を実施した。
- ・ 京都府内市町村教育委員会および私立学校・保育園・幼稚園等の依頼を受け、検尿、検便(ギョウ虫卵)の検査、小・中学生および高校生の心電図検査、貧血検査を実施し、その健康管理に協力した。
- ・ 検尿検査関係のバーコードシステムが定着し、内部業務の省力化と検査過誤の防止に努めた。また、ラック回収方式により効率化を更に進めた。

(11) 「健康増進法」に基づく各種がん検診等として：

- ・ 集団によるがん検診を実施した。(精華町・京田辺市・舞鶴市)
- ・ 長岡京市・向日市における30歳代の健康診断は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。
- ・ 京田辺市・南丹市の住民を対象に骨粗鬆症検診を実施した。

- (12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断として：
- ・ 労災二次健診を413人に実施した。
- (13) その他 健診における検査業務として：
- ・ 京都市町村共済組合職員健診の血液検査を実施した。
- (14) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査及び「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づく腸管出血性大腸菌検査として：
- ・ 食品取扱者の衛生管理の一環として、健康者の保菌検査等を実施し、衛生管理に協力した。

2 分析試験及び調査研究

本年度も以前からの継続調査を諸機関から受託し、食品及びその関連物質、血液等の検体について、分析試験・調査研究を実施した。

3 講習会、講演会、研修会の開催

顧客満足度の向上を追求する中で、医療機関への講習会等はコロナ禍のため実施できなかった代わりに、「問合せQ&A」や「臨床検査ニュース」を配布した。また、検査に関する情報等をホームページに掲載し、「Medical News」においても、随時会員に配布した。

4 研究、調査及び技術指導

本年度も各部門において、学会や研究会への発表、投稿を行った。また、分析技術等において企業と検討、改良を実施した。

5 行政、各種団体及び研究会への協力

本年度も各部門において、所属している団体、委員会等の理事や委員への就任を受託し、その円滑な運営に協力した。

6 品質保証体制の強化充実

品質保証体制の確立は受託検査機関の必須条件となっていることから、企画戦略室を中心に、本年度も体制の強化充実を推進した。

臨床事業の品質保証体制については、ISO15189による品質マネジメントシステムとして、外部機関より2022年11月にサーベイランス審査を受け認定された。また、本部ラボにおいて、医療関連サービスマーク認定の更新審査を2022年11月に受審し更新した。

環境衛生事業の品質保証体制について、2018年3月に認定された水道水質検査優良試

験所規範（水道GLP）に関して、2022年7月に更新審査を受け認定された。また、食品衛生登録検査機関の製品検査業務管理（GLP）に関しても、2022年5月に厚生労働省近畿厚生局より毎年の定期立入指導を受け、更なる精度向上・信頼性確保に努めた。要求事項を遵守し、精度の向上及び検査員へのマネジメントシステムに対する教育訓練を行い要員のシステムへの理解度アップを図った。

健診事業の品質保証体制については、全国労働衛生団体連合会が行う、健診機関の機能を総合的に評価する「労働衛生サービス機能評価」を2022年6月に取得し、優良な施設の認定を受けた。また、ISO27001による情報セキュリティマネジメントシステムとして、外部機関より2023年1月と2月にサーベイランス審査を受けた。

日常実施している検査、分析試験について、精度管理を充実させ、技能試験等についても多数の職員が参加した。また、研修を充実させて教育訓練に努めるとともに、職員の学会、研究会、講習会への参加を推進した。

Ⅱ 事業概要

1 法律に基づく試験、検査等

(1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として

*本年度集計方法の変更 それに伴い2021年度の件数も再集計実施。

1) 生化学的検査Ⅰ 血液化学検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	95.1	11,439,949	12,035,201
ALT (GPT)	92.7	615,246	663,877
AST (GOT)	92.7	612,060	660,891
クレアチニン	93.7	604,705	645,433
γ-GT	92.5	569,453	616,096
中性脂肪	92.2	548,748	595,405
尿素窒素 (BUN)	94.1	535,379	569,532
尿酸 (UA)	93.2	526,659	565,607
K	95.4	506,335	530,753
Na	95.6	501,876	525,423
総蛋白 (TP)	96.8	496,571	513,439
Cl	95.6	494,701	517,881
血糖	95.2	488,916	513,825
HDLコレステロール	92.1	484,443	526,550

2) 生化学的検査Ⅱ 腫瘍マーカー *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	82.8	126,098	152,402
CEA	86.8	37,082	42,735
CA19-9	91.7	29,017	31,645
PSA	80.8	24,524	30,372
AFP	88.1	8,082	9,174
CA125	90.6	6,651	7,345
SCC	99.0	4,071	4,113

PIVKA-II定量	90.1	3,383	3,758
シフラ	63.2	2,946	4,665
CA15-3	103.3	2,084	2,018
エラスターゼ1	108.8	1,198	1,102
インターロイキン2受容体	59.9	1,120	1,872

3) 生化学的検査Ⅱ 内分泌学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比(%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	93.9	289,187	307,980
TSH	99.8	58,414	58,575
遊離T4.	99.9	54,891	54,994
NT-proBNP	101.5	48,718	48,008
遊離T3.	99.9	38,482	38,539
BNP	90.5	30,146	33,346
血中E2	107.0	7,335	6,857
FSH	101.9	6,455	6,335
PTHインタクト	100.8	5,046	5,007

4) 免疫学的検査 感染症免疫学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比(%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	78.2	100,708	128,765
RPR定性	95.7	32,398	33,888
TPLA定性	91.9	32,479	35,369
HIV-抗原抗体	97.1	10,193	10,501
HTLV-I抗体	96.1	4,502	4,687
麻疹IgG(EIA)	90.4	1,438	1,591
TPLA定量	349.3	1,474	422
RPR定量	169.2	1,267	749

5) 免疫学的検査 肝炎ウイルス関連検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	89.0	103,858	116,687
HCV抗体	93.4	41,115	44,057
HBs抗原	91.8	46,561	50,725
HBs抗体	105.9	9,058	8,554
HBc抗体	106.0	3,899	3,679
HCV-3抗体(迅速)	101.7	1,411	1,388
HCV抗原コア蛋白質	111.9	586	524

6) 免疫学的検査 血漿蛋白免疫学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	95.7	754,109	787,668
CRP定性	95.4	348,459	365,580
CRP定量	98.7	347,183	352,079
β 2-MG精密	101.4	4,953	4,889
IgG	96.8	4,644	4,800
IgM	97.6	3,806	3,902
IgA	98.6	3,553	3,607
CH50	98.3	2,301	2,343
IgE(RIST)	94.4	6,481	6,872
View39	115.1	3,225	2,803
スギ	75.4	1,938	2,572
ヤケヒョウヒダニ	75.6	1,834	2,429
ヒノキ	74.5	1,735	2,330
ハウスダスト1	75.7	1,694	2,238

7) 免疫学的検査 自己抗体関連検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	82.3	41,761	50,763
リウマトイド因子	91.8	14,795	16,129
MMP-3	95.4	9,596	10,068
抗核抗体 (FA)	91.8	6,885	7,500
抗CCP抗体	95.3	4,339	4,553
TRAb	85.1	1,087	1,278
抗DNA抗体	105.0	620	591

8) 免疫学的検査 免疫血液学的検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	94.7	34,527	36,445
A B O式血液型	93.6	13,751	14,698
R h式 (D) 血液型	93.6	13,727	14,668
間接クームス試験	98.0	3,975	4,058
不規則抗体	105.7	2,937	2,779

9) 尿・糞便等検査 尿中一般物質定性半定量検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	99.8	596,904	598,104
尿蛋白定性	98.8	92,546	93,759
尿糖定性	98.8	92,496	93,713
尿潜血	98.9	82,949	83,955
尿ウロビリノゲン定性	99.3	74,480	75,058
尿pH	99.0	65,496	66,191
尿アセトン体定性	102.2	58,530	57,314
尿比重	101.5	52,726	51,987
尿ビリルビン定性	102.2	50,616	49,560
尿白血球	101.5	26,944	26,567

10) 尿・糞便等検査 尿中特殊物質定性定量検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	82.9	29,697	35,837
尿中アルブミン定量	103.7	12,140	11,707
尿蛋白定量	66.4	11,309	17,037
尿糖定量	95.8	4,080	4,261
尿中アルブミン定性	80.4	1,046	1,301

11) 尿・糞便等検査 尿沈渣(鏡検法) *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	102.7	60,826	59,224
尿沈渣染色法	99.2	40,745	41,103
尿沈渣無染色法	105.5	19,103	18,121

12) 尿・糞便等検査 糞便検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	82.1	49,228	59,953
便ヒトHb2回法定量	102.9	19,625	19,074
便ヒトHb2回法定性	59.5	12,348	20,786
便ヒトヘモグロビン定量	71.3	3,691	5,179
便ヒトヘモグロビン定性	91.6	3,001	3,279
便Hb・Tf定量	83.7	2,598	3,105
便Hb・Tf定量2回法	89.5	2,423	2,708

13) 血液学的検査 血液形態・機能検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	93.5	3,797,373	4,061,296
赤血球数	93.2	619,894	665,813
血色素量	93.1	619,829	665,811
ヘマトクリット	93.8	614,931	656,180

白血球数	93.7	612,320	654,120
血小板数	95.4	596,743	625,830
血液像	94.9	378,304	398,702
ヘモグロビンA1c	93.8	304,482	324,673
ヘモグロビンA1c (HPLC)	96.9	25,587	26,412
網赤血球数	102.4	18,289	17,872

14) 血液学的検査 出血・凝固検査 *主な項目を記載

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	89.5	91,367	102,083
プロトロンビン時間	86.7	35,170	40,585
APTT	89.0	22,671	25,477
D-Dダイマー定量	101.8	15,808	15,532
フィブリノーゲン	87.9	13,385	15,239

15) 微生物学的検査

① 検査材料別件数 *主な検査材料 (拭き取り, 保菌は除く)

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022年度	2021年度
総実施件数	86.9	66,227	76,229
膣分泌物	93.8	20,122	21,446
尿	92.7	17,235	18,593
喀痰	91.3	5,230	5,728
便	107.6	4,071	3,785
血液	95.4	6,764	7,087
膿	92.7	1,812	1,955
生殖器系	102.6	119	116
呼吸器系	57.5	3,293	5,728
消化器系	93.1	176	189
穿刺液	83.0	1,099	1,324
その他	94.4	6,306	6,682

② 微生物核酸同定・定量検査

検査項目	前年比 (%)	実施件数	
		2022 年度	2021 年度
総実施件数	119.2	58,839	49,379
SARS-CoV-2 (唾液)	112.9	35,768	31,687
SARS-CoV-2 (ぬぐい液)	130.5	23,071	17,692

③ 検査材料別細菌検出率

* 膣分泌物

菌名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
Candida albicans	20.8	20.0
Str. agalactiae (B群)	17.0	16.8
E. faecalis	13.6	12.9
Escherichia coli	15.7	14.5
Gard. vaginalis	3.9	5.4
St. aureus	5.2	5.1
C. glabrata	1.7	2.4
Streptococcus sp.	1.7	1.8
Kl. pneumoniae	2.5	2.1
コアグラージェ陰性ブドウ球菌	7.1	5.7
St. aureus (MRSA)	0.6	0.6
ESBL (extended-spectrum β -lactamase) 産生菌	0.1	0.1
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	0.1	0.0

* 尿

菌名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
Escherichia coli	28.3	30.0
E. faecalis	13.4	12.9
Streptococcus sp.	4.6	4.3
Kl. pneumoniae	6.6	5.8
Str. agalactiae (B群)	5.2	4.6
Ps. aeruginosa	4.0	4.2

Candida sp.	3.1	2.7
St. aureus (MRSA)	1.7	1.7
Proteus mirabilis	2.3	2.4
ESBL (extended-spectrum β -lactamase) 産生菌	7.4	7.3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	0.2	0.1
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	0.1	0.1

* 喀痰

菌 名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
Candida sp.	14.7	14.1
St. aureus (MRSA)	22.2	22.2
Ps. aeruginosa	21.6	20.6
Kl. pneumoniae	11.2	10.6
St. aureus	12.2	11.5
Candida albicans	6.7	8.0
Str. agalactiae (B 群)	9.6	7.8
Str. pneumoniae	0.8	1.2
Escherichia coli	4.4	4.1
Moraxella. catarrhalis	0.8	1.2
BLNAR (H. influenzae)	0.4	0.6
ペニシリン耐性肺炎球菌 (PRSP)	0.1	0.0
ESBL (extended-spectrum β -lactamase) 産生菌	10.7	10.3
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE)	0.0	0.1
多剤耐性緑膿菌 (MDRP)	0.1	0.2

* 便

菌 名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
Campylobacter jejuni	5.5	6.9
Salmonella sp	1.1	1.2
病原性大腸菌 O-26	0.1	0.1
病原性大腸菌 O-157	0.1	0.2
病原性大腸菌 O-111	0.0	0.0

病原性大腸菌 O-128	0.0	0.0
Vib. parahaemolyticus	0.0	0.1
Aeromonas sp.	0.1	0.1
Clostr. difficile	0.4	0.8

* 血液

菌 名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
Escherichia coli	5.7	6.4
Kl. pneumoniae	2.1	2.2
St. aureus (MRSA)	1.8	1.5
St. aureus	1.5	1.7
Streptococcus sp.	0.6	0.4
Ps. aeruginosa	0.4	0.5
E. faecalis	0.5	0.4
Candida albicans	0.3	0.4
Bacillus cereus	0.1	0.3
ESBL (extended-spectrum β -lactamase) 産生菌	2.5	2.7

* 膿

菌 名	検出率 (%)	
	2022 年度	2021 年度
St. aureus	23.7	21.7
St. aureus (MRSA)	7.6	9.0
E. faecalis	3.7	3.7
Streptococcus sp.	5.8	3.9
Escherichia coli	4.2	4.5
Candida albicans	3.9	3.0
Ps. aeruginosa	2.6	3.2
Kl. pneumoniae	2.6	2.4
Str. agalactiae (B 群)	2.8	2.9
C. glabrata	0.4	0.5
ESBL (extended-spectrum β -lactamase) 産生菌	1.6	1.3

16) 病理組織及び細胞診検査

項目	件数
総病理組織検査	73,075
総細胞診検査	59,747
婦人科細胞診	48,560
婦人科以外	11,187
呼吸器	1,954
泌尿器	8,518
体腔液	264
消化器	105
その他	346

17) 細胞診検査内訳

① 婦人科 (スメアータテスト)

受付件数	48,560	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V	判定不能・染色のみ
比率 (%)		1.01	92.82	5.60	0.04	0.13	0.40

② 婦人科以外 (スメアータテスト)

・呼吸器

受付件数	1,954	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率 (%)		0.46	10.18	86.18	2.05	0.41	0.72

・泌尿器

受付件数	8,518	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率 (%)		0.00	10.97	83.28	4.98	0.43	0.34

・体腔液

受付件数	264	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率 (%)		0.38	4.92	56.45	18.18	5.30	14.77

・消化器

受付件数	105	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率 (%)		9.52	1.90	28.57	41.91	10.48	7.62

・その他 (乳腺、甲状腺、リンパ節、他)

受付件数	346	判定不能	PC I	PC II	PC III	PC IV	PC V
比率 (%)		0.58	8.09	60.98	19.94	4.34	6.07

備考： 比率 (%) = クラス別人数 / 受付件数 × 100

(2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として以下の検査を実施した。

1) 濃度（水質、大気、土壌）

- ・水質関係 …………… 8,360 件
工場排水（含研究排水）、生活排水（含河川水、池の水）、温泉分析
- ・大気関係 …………… 129 件
排ガス測定（環境大気、悪臭測定、温泉メタンガス等を含む）
- ・産業廃棄物関係 …………… 315 件
溶出、成分試験（含土壌有害物試験）

2) 音圧レベル

- ・工場騒音レベル測定 …………… 2 件

3) 特定濃度（ダイオキシン類等）（再委託数）

- ・焼却炉排ガス …………… 3 件
- ・焼却炉関連飛灰、焼却灰等 …………… 3 件
- ・水質関連 …………… 39 件
- ・土壌、底質 …………… 1 件
- ・環境大気 …………… 0 件
- ・作業環境 …………… 2 件

(3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として以下の検査を実施した。

1) 食品衛生に関する検査を実施し、食品の適正チェックを実施した。

項 目		件 数
自主認定検査	かんすい	399
	タール色素製剤	2
食品衛生検査（微生物学的検査）		1,783
栄養成分及び添加物検査（理化学的検査）		462

2) 食品衛生管理検査（拭き取り検査）を実施した。

- 32事業所 …………… 1,848 件

(4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として以下の検査を実施した。

- 1) 京都府をはじめとする近畿一円の水道事業者等が行う水質検査（水道法20条）を登録機関として実施し、また、飲料水水質検査（専用水道、ビル管理法関係、地下水、井戸水等）を実施し、飲料水の適正チェックを実施した。

区 分		項 目	件 数
水道事業体	原 水	51 項目検査セット	330
		その他項目	1,322
	浄 水	51 項目検査セット	262
		その他項目	2,018
専用水道	原 水	51 項目検査セット	51
		その他項目	12
	浄 水	51 項目検査セット	120
		その他項目	868
ビル管理法関係		16 項目、消毒副生成物 12 項目	2,058
その他（地下水・井戸水等）		16 項目、11 項目、消毒副生成物 12 項目、その他項目	7,882

- 2) 京都市生活衛生課の要請により、食品の調理、製造、加工業者の井水検査について保健所及び食品衛生指導員を通じ、その検査を低料金で実施し、衛生的な水使用の啓発指導に協力した。

保健所名	検査件数
左 京	1
伏 見	69
上 京	1
中 京	0
下 京	0
山 科	8
西 京	0
右 京	2
総 件 数	81

- (5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として、京都府、大阪府（枚方市・高槻市）、滋賀県及び奈良県の水道受水槽、高置水槽（貯水槽水道）の維持管理検査（水道法第34条）を実施し、施設の適正チェックを行った。

注) 表中の判定のアは「良好」、イは「おおむね良好」、ウは「要改善」である。

[全体]

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	1,567	ア	1,013	64.6
		イ	547	34.9
		ウ	7	0.5
京 都 府 (京都市を除く)	1,302	ア	865	66.4
		イ	430	33.0
		ウ	7	0.6
他 府 県	775	ア	470	60.6
		イ	305	39.4
		ウ	0	0.0
合 計	3,644	ア	2,348	64.4
		イ	1,282	35.2
		ウ	14	0.4

[受水槽容量（10m³超）]

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	1,436	ア	924	64.3
		イ	505	35.2
		ウ	7	0.5
京 都 府 (京都市を除く)	1,145	ア	780	68.1
		イ	360	31.4
		ウ	5	0.5
他 府 県	736	ア	450	61.1
		イ	286	38.9
		ウ	0	0.0
合 計	3,317	ア	2,154	64.9
		イ	1,151	34.7
		ウ	12	0.4

〔受水槽容量（10m³以下）〕

内 訳	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	131	ア	89	67.9
		イ	42	32.1
		ウ	0	0.0
京 都 府 (京都市を除く)	157	ア	85	54.1
		イ	70	44.6
		ウ	2	1.3
他 府 県	39	ア	20	51.3
		イ	19	48.7
		ウ	0	0.0
合 計	327	ア	194	59.3
		イ	131	40.1
		ウ	2	0.6

(6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として、京都府内（検査担当地区）の浄化槽施設について法定検査（浄化槽の水質に関する検査）を実施し、併せて啓発指導を行う等、環境保全対策に協力した。

内 訳	第7条（設置後等の水質検査）				第11条（定期検査）			
	検査件数	判 定	件 数	%	検査件数	判 定	件 数	%
京 都 市	8	イ	5	62.5	90	イ	41	45.6
		ロ	3	37.5		ロ	49	54.4
		ハ	0	0.0		ハ	0	0.0
京 都 府 (京都市を除く)	39	イ	20	51.3	2,465	イ	1,431	58.1
		ロ	19	48.7		ロ	1,022	41.5
		ハ	0	0.0		ハ	12	0.4
合 計	47	イ	25	53.2	2,555	イ	1,472	57.6
		ロ	22	46.8		ロ	1,071	41.9
		ハ	0	0.0		ハ	12	0.5

注) 表中の判定のイは「適正」、ロは「おおむね適正」、ハは「不適正」である。

(7) 「作業環境測定法」に基づく作業環境測定

作業環境測定登録機関として、京都府及び滋賀県において、作業環境測定を140件実施した。

(8) 「労働安全衛生法」に基づく定期健康診断

[各種健康診断実施数]

実施数(人数)	協会けんぽ生活習慣病予防健診			労安法定期健診	
	出張	来所	胃部X線	出張	来所
本 部	6,228	2,071	2,907	21,573	2,574
北 部	12,097		2,160	13,627	
合 計	18,325	2,071	5,067	35,200	2,574

事業所数	178	326	283	242	230
新規事業所数	8	34	22	8	34

[北部労働基準協会 内訳]

実施数(人数)	協会けんぽ生活習慣病予防健診			労安法定期健診	
	出張	来所	胃部X線	出張	来所
丹後労働基準協会	3,564		720	2,374	
福知山労働基準協会	3,170		394	3,300	
舞鶴労働基準協会	2,336		368	2,459	

[特殊健診実施数]

実施数(人数)	有機溶剤	深 夜	腰 痛	特化物	じん肺	V D T	電 離	石 綿	鉛
本 部	841	2,561	1,750	271	301	1,176	33	22	18
北 部	153	1,908	2,902	52	160	228	0	0	0
合 計	994	4,469	4,652	323	461	1,404	33	22	18

事業所数	46	61	30	10	29	7	7	2	7
新規事業所数	3	0	0	0	2	2	1	0	1

[鉛中毒予防検査実施数]

検 査 項 目	件 数	前年比 (%)
血中鉛	24	96.0
尿中デルタアミノレブリン酸	24	96.0

[有機溶剤中毒予防検査実施数]

代謝物の検査（有機溶剤の種類）	検査項目	件数	前年比（%）
トルエン	尿中馬尿酸	213	163.8
キシレン	尿中メチル馬尿酸	154	82.7
スチレン	尿中マンデル酸	190	148.4
テトラクロロエチレン	尿中トリクロロ酢酸 or 総三塩化物	2	200.0
1,1,1-トリクロロエタン			
トリクロロエチレン			
ノルマルヘキサン	尿中2,5-ヘキサンジオン	71	81.6

[来所健診実施人数推移]

健診名	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
来所定期健診	5,791	5,448	5,411	5,058	4,420
婦人科マンモグラフィ	381	339	233	266	318
婦人科子宮がん	427	374	266	303	249
胃部内視鏡	720	705	490	571	523
腹部超音波	691	573	342	511	463

[ストレスチェック検査実施数推移]

ストレスチェック検査	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度	2018年度
実施数	8,444	9,197	8,768	8,435	9,153
事業所数	78	81	76	70	69

[保健指導実施数推移]

保健指導	2022年度	2021年度	2020年度	2019年度
実施数	122	134	97	46

(9) 「高齢者医療確保法」に基づく特定健康診査・特定保健指導

[地区医師会による集団特定健康診査実施数]

	血液検査	心電図検査	検尿検査	身長・体重・腹囲
山科医師会	464	414	463	464
右京医師会	791	650	790	791
(右京)京北町	169	139	169	169
左京医師会	643	530	639	643
下京東部医師会	209	164	209	209
下京西部医師会	474	383	474	474
中京東部医師会	157	124	157	157
中京西部医師会	323	260	322	323
合計	3,230	2,664	3,223	3,230

[各自治体による集団特定健康診査実施数]

	血液検査	心電図検査	検尿検査	身長・体重・腹囲
舞鶴市	2,089	2,079	2,081	2,081

[京都市個別特定健康診査・特定保健指導実施数]

* 来所にて実施

	血液検査	心電図検査	検尿検査	身長・体重・腹囲	特定保健指導
京都市国保	97	67	97	97	0
後期高齢者	35	35	35	35	0
京都市国保ドック	42	42	42	42	1
後期高齢者ドック	7	7	7	7	0
被用者	153	16	153	153	0
合計	334	167	334	334	1

(10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査

[生徒・学生総合健康診断実施数]

	胸部X線	心電図	検尿	内科診察	視力	聴力	耳鼻科	眼科
京都府内高等学校10校	2,080	2,662	6,238	6,012	6,023	4,252	4,651	4,084
京都府内大学6校	4,985	61	5,801	5,944	5,945	61	0	0

[生徒等の血液検査・心電図検査実施数]

	学校数	血液検査	心電図
小学校	87	1,032	5,880
中学校	37	634	3,201
高等学校	8	1,250	919
その他	2	3,195	466
合計	134	6,111	10,466

京都府内市町村教育委員会および私立学校・保育園・幼稚園等の依頼を受け、検尿、検便（ギョウ虫卵）の検査を実施、その健康管理に協力した。

（施設数 1,038件 検査人数 263,426名）

検査項目	検査件数	異常値数	陽性率（％）
蛋白	338,710	9,212	2.72
糖	338,710	726	0.21
潜血	336,266	5,730	1.70
ウロビリノーゲン	14,069	11	0.08
ギョウ虫卵	648	0	0.00

(11) 「健康増進法」に基づく各種がん検診等

[集団によるがん検診実施数]

	肺がん	結核	胃がん	大腸がん	前立腺	肝炎	子宮がん	マンモ
精華町	2,295	2,295	1,387	2,752	544	106	0	0
京田辺市	978	1,527	914	1,370	0	0	0	0
舞鶴市	2,182	3,279	1,647	2,100	664	137	0	0

[集団による各種検診実施数]

新型コロナウイルス感染症の影響により縮小・未実施

(市町村名)	骨粗鬆症検診
京田辺市	88
南丹市	255
八幡市	0
合計	343

(市町村名)	30歳代健診
向日市	0
長岡京市	0
合計	0

[各教育委員会定期健康診断実施数]

(市町村名)	実施数
亀岡市	277
久御山町	56
大津市	1,653
南丹市	0
長岡京市	239
宮津市	79
京丹後市	166

伊根町	19
京丹波町	48
与謝野町	118
福知山市	314
綾部市	246
向日市	160
宇治市	0
合計	3,375

(12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断

(実施者名)	労災二次健診
丹後労働基準協会	59
福知山労働基準協会	117
舞鶴労働基準協会	80
その他	157
合計	413

(13) その他 健診における検査業務

(実施者名)	血液検査
市町村共済組合	1,638

(14) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査

検査項目	検査件数	陽性数	陽性率 (%)
保菌検査	214,430	19	0.01
虫卵	2,908	0	0.00

(15) 大量調理施設衛生管理マニュアルに基づく腸管出血性大腸菌検査

検査項目	検査件数	陽性数	陽性率 (%)
腸管出血性大腸菌	118,951	0	0.00
血清型別	4,249	12	0.28
ノロウイルスIC	195	2	1.03
ノロウイルスPCR	13,601	62	0.46

2 分析試験及び調査研究

(1) 京都府各市町村及び京都府医師会主催の子宮がん検診の細胞診指定機関として検査を実施、その事業に協力した。

(検体件数 17,500件 スクリーニング クラスⅢ以上 496件)

2022年度 京都府子宮がん検診スクリーニング結果 年齢階級別クラス表

年 齢	受付件数	NILM	PC Ⅲ a	PC Ⅲ b	PC Ⅳ	PC Ⅴ	その他
～29	2,046	1,922	118	4		1	1
30～34	1,203	1,148	51	2	1		1
35～39	1,721	1,659	55	4	1		2
40～44	1,815	1,754	55	3	3		
45～49	2,394	2,328	62	2	2		
50～54	2,160	2,108	49	2			1
55～59	1,580	1,558	22				
60～64	1,323	1,307	15	1			
65～69	1,146	1,133	12		1		
70～74	1,210	1,194	13		1	1	1
75～	902	886	13	1		1	1
合 計	17,500	16,997	465	19	9	3	7

(2) 京都府花粉情報システムの花粉観察施設の試料集配及び花粉カウントの依頼を京都府立医科大学耳鼻咽喉科より受け、これに協力した。

観察局：京都府立医科大学

一般社団法人 京都微生物研究所 本部ラボ

一般社団法人 京都微生物研究所 福知山支所

花粉カウント測定数月別内訳

年 月	件 数	スギ	ヒノキ	マツ	ハンノキ	ブナ	イネ	キク	クワ	その他
2022年3月	77	2,325	549	1	3	0	0	0	0	97
2022年4月	75	300	6,613	823	1	1,167	0	0	0	2,594
2022年5月	68	0	0	906	0	26	2	0	0	559
2022年6月	61	0	0	5	0	0	0	0	0	19
2022年7月	4	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2022年8月	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2022年9月	5	0	0	0	0	0	0	0	0	28
2022年10月	4	18	0	0	0	0	0	0	0	33
2022年11月	1	2	0	0	0	0	0	0	0	7
2022年12月	1	0	0	0	0	0	1	0	0	8
2023年1月	7	0	0	0	0	0	0	0	0	1
2023年2月	61	47	0	0	0	0	0	0	0	5
合 計	367	2,692	7,162	1,735	4	1,193	3	0	0	3,352

(3) 京都府の要請により、府内の海水浴場の水質検査を開設前に実施、その調査に協力した。

舞鶴市	神崎浜他	4カ所
宮津市	天橋立他	3カ所
伊根町	泊浜他	2カ所
京丹後市	小天橋他	15カ所

3 講習会、講演会、研修会の開催

(1) 本年度も新規掲載項目等を「Medical News」で随時会員に配布した。

- ・日常診療の参考になるリーフレット、時節に即応した検査項目に関してトピックスとして取り上げ、検査情報を提供した。また、問合せ内容を分析し、Q & A、臨床検査ニュースを継続し刊行した。

(2) 医療機関への講習会等はコロナ禍のため実施できなかった。

(3) 京都府臨床検査技師会、臨床化学・免疫血清研究班（西垣 圭二、上川 大輔）
微生物検査研究班（中川 泰陽）、輸血検査研究班（多胡 聖子）年間活動実績

年月日	講師	講習会名
2022年6月3日	多胡聖子	輸血 Web 研修会 輸血検査の基礎知識
2022年12月11日	多胡聖子	令和4年度日臨技近畿支部輸血検査 研修会
2023年1月14日	中川泰陽	京臨技微生物検査寄生虫実習
2023年2月17日	多胡聖子	輸血 Web 研修会 精度管理について

(4) 京都府計量協会

年月日	参加者	講習会名
2022年6月30日	石井依里子、他5名	計量・計測業務担当者のための研修会（Web 研修会）
2022年8月30日	糸田俊光、他6名	第1回 不確かさ京の会（Web 研修会）
2023年2月27日	宮越圭一、他3名	第2回 不確かさ京の会（Web 研修会）

Ⅲ 行政、各種団体及び研究会への協力

1 行政への協力

- (1) 福知山支所において、過疎地域自立促進特別措置法で認定されている京都府北部のへき地医療を支え、協力した。
- (2) 行政所管の委員会の健全な発展に寄与した。

2 各種団体及び研究会への委員等の派遣

- (1) 各種団体及び研究会への委員等の派遣状況

大藪理事長

(一社) 日本衛生検査所協会	理事
(一社) 日本衛生検査所協会	総務・労務委員会 副委員長
(一社) 日本衛生検査所協会 近畿支部	総務広報委員長
(株) 日本セルネット	取締役

小林専務理事

(一社) 全国給水衛生検査協会	理事
(一社) 全国給水衛生検査協会 近畿支部	支部長
(株) 日本セルネット	取締役

清水理事

(株) 日本セルネット	監査役
-------------	-----

宮本理事

(株) 日本セルネット	取締役
-------------	-----

今井室長

(一社) 全国給水衛生検査協会	20条技術委員
京都府環境計量証明事業協会	理事

白須部長

衛生検査所業公正取引協議会 近畿地区	京都地区支部長
--------------------	---------

中川部長

(一社) 京都府臨床検査技師会	微生物研究班員
(一社) 日本衛生検査所協会 近畿支部	学術委員

西垣課長

(一社) 京都府臨床検査技師会	臨床化学・免疫血清研究班員(副班長)
(一社) 日本衛生検査所協会 近畿支部	学術委員

多胡課長

(一社) 京都府臨床検査技師会	輸血研究班員(会計)
-----------------	------------

津知課長補佐

(一社) 全国給水衛生検査協会	34条技術委員
-----------------	---------

上川係長

(一社) 京都府臨床検査技師会	臨床化学・免疫血清研究班員
-----------------	---------------

(2) 諸会合への参加状況

1) 臨床検査関係

○一般社団法人 日本衛生検査所協会 本部

全国 総務・労務委員会

2022年3月23日	大藪理事長	日衛協東京本部
2022年5月23日	大藪理事長	書面
2022年7月19日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2022年10月11日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2023年1月17日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議
2023年2月21日	大藪理事長	日衛協東京本部 オンライン会議

○一般社団法人 日本衛生検査所協会 近畿支部

幹事会

2022年6月13日	大藪理事長	日衛協大阪会議室
2022年10月11日	大藪理事長	日衛協大阪会議室 オンライン会議
2023年2月13日	大藪理事長	日衛協大阪会議室

○一般社団法人 日本衛生検査所協会 衛生検査所業公正取引協議会

近畿地区協議会

2022年5月9日	白須部長	日衛協大阪会議室 オンライン会議
2022年6月13日	白須部長	日衛協大阪会議室
2022年7月11日	白須部長	日衛協大阪会議室
2022年10月11日	白須部長	日衛協大阪会議室 オンライン会議
2022年11月7日	白須部長	日衛協大阪会議室
2022年12月16日	白須部長	日衛協大阪会議室
2023年2月13日	白須部長	日衛協大阪会議室

- 一般社団法人 日本衛生検査所協会 衛生検査所業公正取引協議会
京都・滋賀ブロック地区協議会

2023年1月26日	白須部長、他	ホテル琵琶湖プラザ
------------	--------	-----------

- 一般社団法人 日本衛生検査所協会 学術委員会
近畿支部

2022年9月13日	中川部長、他	日衛協大阪会議室
2022年11月15日	西垣課長	日衛協大阪会議室
2023年2月21日	中川部長、他	日衛協大阪会議室

2) 役員関係

- 京都経済同友会例会

2022年3月16日	大藪理事長	リーガロイヤルホテル京都
2022年5月18日	大藪理事長	ウェスティン都ホテル京都
2022年6月15日	大藪理事長	ウェスティン都ホテル京都
2022年10月20日	大藪理事長	ウェスティン都ホテル京都
2022年12月21日	大藪理事長	リーガロイヤルホテル京都

- (株)日本セルネット取締役会

2022年5月13日	大藪理事長、他3名	(株)近畿予防医学研究所会議室
2022年11月28日	大藪理事長、他3名	(株)近畿予防医学研究所会議室

3) 環境衛生検査関係

- 一般社団法人 全国給水衛生検査協会 総会

2022年6月29日	小林専務理事、他	東京 大田区産業プラザ
------------	----------	-------------

- 一般社団法人 全国給水衛生検査協会 20条技術委員会

2023年2月15日	今井室長	オンライン会議
------------	------	---------

- 一般社団法人 全国給水衛生検査協会 34条技術委員会

2022年5月20日	津知課長補佐	オンライン会議
2022年11月25日	津知課長補佐	東京 航空会館

- 全浄連近畿ブロック協議会

2022年4月22日	今井室長、津知課長補佐	ホテル浦島
2022年8月31日	今井室長、津知課長補佐	大阪キャッスルホテル

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 各種研修会並びに研究発表会

2022年9月21日～22日	宮越部長、他2名	東京 大田区産業プラザ
2022年9月28日	小林専務理事、他7名	近畿支部研修会 ホテルルビノ京都堀川
2022年11月21日～22日	宮越部長、他2名	東京 大田区産業プラザ
2022年12月22日～23日	津知課長補佐	東京 大田区産業プラザ

○一般社団法人 全国給水衛生検査協会 近畿支部総会

2022年6月17日	小林専務理事、他5名	京都リサーチパーク
------------	------------	-----------

○京都府環境計量証明事業協会 理事会並びに総会

2022年5月28日	今井室長	京都府計量協会
2022年6月16日	今井室長	東急ホテル
2022年10月26日	今井室長	京都府計量協会
2022年11月18日	今井室長	ウェスティン都ホテル京都

○京都府環境計量証明事業協会 共同実験討論会

2023年2月22日	宮越部長、他4名	ウェスティン都ホテル京都
------------	----------	--------------

4) 総務関係

○会社説明会

2022年5月13日	島部長、他	本部ラボ会議室オンライン
------------	-------	--------------

○山科美化推進企業協議会 役員会

2022年3月18日	金澤主任	書面
2022年4月26日	金澤主任	書面
2022年8月31日	金澤主任	書面
2022年12月12日	金澤主任	書面

○山科美化推進企業協議会 総会

2023年2月1日	今井室長、金澤主任	書面
-----------	-----------	----

IV 品質保証体制の強化充実

1 ISO15189（臨床検査室認定）

サーベイランス審査を2022年11月24日・25日に受審

認定番号：RML00110

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：尿・糞便等一般検査、血液学的検査、生化学的検査Ⅰ、Ⅱ、免疫学的検査、微生物学的検査

登録日：2006年3月29日

再交付：2023年2月15日（有効期限：2026年3月31日）

登録認定機関：公益財団法人 日本適合性認定協会

2 医療関連サービスマーク

（本部）

医療関連サービスマーク衛生検査所業務に関する認定審査を2022年11月17日に受審

認定番号：E（15）-2302260170

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：微生物学的検査、免疫学的検査、血液学的検査、病理学的検査、生化学的検査、尿・糞便等一般検査、遺伝子関連・染色体検査

交付日：2023年2月1日（有効期限：2025年1月31日）

認定機関：一般財団法人 医療関連サービス振興会

（福知山支所）

医療関連サービスマーク衛生検査所業務に関する認定審査を2021年7月29日に受審

認定番号：E（14）-2110260171

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 福知山支所

認定区分：血液学的検査、生化学的検査、血清学的検査、微生物学的検査、寄生虫学的検査

交付日：2021年10月1日（有効期限：2023年9月30日）

認定機関：一般財団法人 医療関連サービス振興会

※2022年度認定審査なし

3 公益社団法人 全国労働衛生団体連合会 労働衛生サービス機能評価

健診業務の品質保証体制の維持向上のために2021年12月13日に入会審査を受審し、2022年6月に労働衛生サービス機能評価取得

認定番号：第185号

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 附属診療所

認定区分：健康診断

登録日：2022年6月1日（有効期限：2026年5月31日）

登録認定機関：公益社団法人 全国労働衛生団体連合会

4 ISO27001（情報セキュリティマネジメントシステム）

健診業務の情報セキュリティの確保のために2016年4月に認証取得し、2023年1月24日・2月22日にサーベイランス審査を受審

登録番号：C2022-00154

登録事業所：一般社団法人 京都微生物研究所 健診事業部

登録区分：職域健診・学校検診等の健康診断業務

登録日：2016年4月26日

再交付：2022年4月26日（有効期限：2025年4月25日）

登録認定機関：ペリージョンソンホールディング株式会社ペリージョンソンレジストラ

5 水道GLP（水道水質検査優良試験所規範）

水道水質検査業務の品質保証体制の維持向上のために2018年3月に認証取得し、2022年7月14・15日に認定更新審査を受審

認定番号：JWWA-GLP136

認定事業所：一般社団法人 京都微生物研究所

認定区分：水道水質基準51項目（水道水・浄水、原水）

認定日：2018年3月20日（有効期限：2026年9月19日）

登録認定機関：公益社団法人 日本水道協会

6 内部監査

品質システムの有効性を確認するために、年間計画に基づく内部監査を各業務における認定、認証基準に沿って以下のとおり実施した。

・ISO15189 2022年9月、10月

・ISO27001 2022年12月

・水道GLP 2023年2月

7 外部精度管理への参加

(1) 臨床検査関係

検査精度向上のため、各コントロールサーベイに参加し、技術向上を図った。

2022年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	サーベイ名称
2022年5月	積水メディカル株式会社	コアプレスタコントロールサーベイ
2022年6月	極東製薬株式会社	メディエースRPRコントロールサーベイ
2022年6月	積水メディカル株式会社	コレステストコントロールサーベイ
2022年6月	(一社) 日本臨床衛生検査技師会	2022年度日臨技臨床検査精度管理調査
2022年6月	バイオ・ラッドラボラトリーズ株式会社	イムノアッセイTMJコントロールサーベイ
2022年6月	富士フイルム和光純薬株式会社	WAKOコントロールサーベイ
2022年7月	日水製薬株式会社	L-スイトロールサーベイ
2022年9月	(公社) 日本医師会	令和4年度(第56回)臨床検査精度管理調査
2022年10月	(一社) 京都府臨床検査技師会 (一社) 京都府医師会	令和4年度(第38回)京都府臨床検査精度管理調査 兼 令和4年度(第41回)京都府医師会臨床検査精度管理調査
2022年11月	(一社) 日本衛生検査所協会	令和4年度(第48回)日衛協臨床検査精度管理調査

(2) 環境衛生関係

2022年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	精度管理項目
2022年6月	厚生労働省	水質(カドミウム及びその化合物、アルミニウム及びその化合物、ジェオスミン、2-メチルイソボルネオール)
2022年6月	(一財) 食品薬品安全センター	E.coli:加熱食肉製品(加熱殺菌後包装)
2022年6月	(一社) 日本環境測定分析協会	水質(ほう素、全クロム、カドミウム、鉛)
2022年6月	(一財) 食品薬品安全センター	食品農薬(クロルピリホス、フェントエート)
2022年7月	(一財) 食品薬品安全センター	一般細菌数:氷菓(ゼラチン基材)
2022年7月	(一財) 食品薬品安全センター	添加物(果実ペースト中ソルビン酸)
2022年7月	(一社) 日本環境測定分析協会	水質(COD(Mn))
2022年8月	環境省	水質(クロム、カドミウム、鉛、ヒ素、全りん)
2022年10月	京都府環境計量証明事業協会	水質(全窒素)
2022年10月	(一社) 日本環境測定分析協会	水質(ふっ化物イオン、塩化物イオン、亜硝酸態窒素、硝酸態窒素)
2022年10月	(一財) 食品薬品安全センター	黄色ブドウ球菌:加熱食肉製品 (加熱殺菌後包装)

2022年10月	(一社) 全国給水衛生検査協会	水質 (色度、マンガン)
2022年10月	(一財) 食品薬品安全センター	サルモネラ属菌:食鳥卵(殺菌液卵)
2022年11月	(一社) 日本環境測定分析協会	水質 (全窒素、全りん)
2022年11月	(一財) 食品薬品安全センター	大腸菌群:加熱食肉製品 (包装後加熱殺菌)
2022年11月	(一社) 全国給水衛生検査協会	簡易専用水道検査外部精度管理調査
2022年12月	全浄連近畿ブロック協議会	水質 (BOD)
2023年1月	(一社) 日本環境測定分析協会	大気 (窒素酸化物、硫黄酸化物)

(3) 健診関係

2022年度 外部精度管理参加一覧

実施年月	主催者名	精度管理項目
2022年10月	(公社) 全国労働衛生団体連合会	胸部 X 線検査分野
2022年10月	(公社) 全国労働衛生団体連合会	胃部 X 線検査分野
2022年10月	(公社) 全国労働衛生団体連合会	臨床検査精度管理(尿・生化学・血液一般)
2022年10月	(公社) 全国労働衛生団体連合会	腹部超音波検査
2022年10月	(公社) 全国労働衛生団体連合会	労働衛生精度管理 (生物学的モニタリング)

8 教育訓練

(1) 内部研修

- 事業部門 (臨床関係) (当所京都ラボ会議室にて、動画研修含む)

実施年月	テーマ	主催
2022年4月	梅毒	臨床情報室
2022年5月	血液培養について	臨床情報室
2022年6月	帯状疱疹について	臨床情報室
2022年6月	特発性間質性肺炎について	臨床技術部
2022年6月	腎炎と腎症	臨床技術部
2022年7月	T-SPOT	臨床情報室
2022年7月	不規則抗体と消去法	臨床技術部
2022年7月	尿素呼気試験について	臨床技術部
2022年8月	HPV (ヒトパピローマウイルス)	臨床情報室
2022年8月	輸液混入による検査データへの影響	臨床技術部
2022年8月	T-SPOT・TBの判定について	臨床技術部
2022年9月	情報セキュリティ関連	情報システム部

2022年9月	多発性骨髄腫	臨床情報室
2022年10月	アミラーゼの上昇について	臨床技術部
2022年10月	食中毒	臨床情報室
2022年11月	風疹	臨床情報室
2022年11月	HBVゲノタイプ検査について	臨床技術部
2022年11月	赤血球恒数について	臨床技術部
2022年12月	血小板凝集	臨床情報室
2022年12月	カリウム偽高値の原因	臨床技術部
2022年12月	風疹とワクチンについて	臨床技術部
2023年1月	抗菌薬について	臨床情報室
2023年1月	尿定性・沈渣でわかること	臨床技術部
2023年1月	感染予防の基礎知識について	臨床技術部
2023年1月	安全運転講習	臨床事業部 (DVD)
2023年2月	抗酸菌について	臨床情報室

○ 事業部門（環境衛生関係）（当所京都ラボにて）

実施年月	テ	マ	主	催
2022年4月～ 2023年2月	測定・審査担当者教育		環境分析部	
2022年4月～ 2023年2月	採取（水質・排ガス）担当者教育		環境分析部	
2022年7～12月	計量証明検査ルーチン業務、一般測定担当者教育		環境分析部	
2022年7月～ 2023年2月	簡易専用水道検査担当者教育		環境分析部	
2022年9月	簡易専用水道検査内部精度管理調査		環境分析部	
2022年9～11月	細菌検査ルーチン業務、一般測定担当者教育		環境分析部	
2022年10～12月	飲料水検査ルーチン業務、一般測定担当者教育		環境分析部	

○ 事業部門（健診関係）（当所本社屋2階会議室にて）

実施年月	テ	マ	主	催
2022年7月	ISO27001 学習会		キヤノンシステムアンドサポート株式会社	
2022年11月	乳がん検診（トモシンセシス）		シーメンスヘルスケア株式会社	
2022年11月	健康講座「婦人科検診」		健診業務課	

○ 総務・情報システム部門（当所本社屋2階会議室にて）

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2022年8月	情報セキュリティ勉強会			キヤノンシステムアンドサポート株式会社	
2022年11月	情報セキュリティ勉強会			情報システム部	
2022年11月	最新の攻撃手法について（情報セキュリティ）			情報システム部	
2023年2月	RPA とは			株式会社キーエンス	

○ 企画戦略室部門（当所本部ラボ会議室にて、動画研修含む）

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2022年4月	2020年改正 個人情報保護法について			総務部、企画戦略室	
2022年10月	ISO15189 について			企画戦略室	

(2) 学会、外部研修会等参加状況

○ 臨床検査部門

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2022年5月	第2回臨床一般セミナー腎臓病克服に向けた挑戦			シスメックス株式会社	
2022年7月	一般検査基礎研修会			京都府臨床検査技師会	
2022年12月	日臨技 近畿支部 輸血検査 研修会			日本臨床衛生検査技師会	
2023年1月	京臨技微生物検査寄生虫実習			京都府臨床検査技師会	
2023年2月	輸血検査研修会（Web研修会）			京都府臨床検査技師会	
2023年2月	臨床検査技師のための感染症・微生物セミナー			大阪大学感染症総合教育研究拠点（CiDER）人材育成部門	
2023年2月	血液検査研究班 顕微鏡実技講習会			京都府臨床検査技師会	
2023年2月	遺伝子検査実技講習会			京都府臨床検査技師会	
2023年2月	WAKO関西懇話会			富士フイルム和光純薬株式会社	

○ 環境衛生部門

実施年月	テ	ー	マ	主	催
2022年3月	第7回Webセミナー（日常メンテナンス講座・標準液や外的要因によるトラブル事例紹介）			ビーエルテック株式会社	
2022年3月	水道水質検査精度管理に関する研修会			厚生労働省水道課水道水質管理室	
2022年3月	令和3年度飲料水検査外部制度管理に関する研修会			（一社）全国給水衛生検査協会	
2022年4月	水道水質分析ウェビナー2022			アジレント・テクノロジー株式会社	
2022年8月	『不確かさ京の会』第一回講習会			（一社）京都府計量協会	

2022年9月	一般社団法人全国給水衛生検査協会 近畿支部 2022年度研修会	(一社)全国給水衛生検査協会
2022年11月	令和4年度全国飲料水検査研究発表会	(一社)全国給水衛生検査協会
2023年2月	JASIS関西2023	(一社)日本分析機器工業会・ (一社)日本科学機器協会
2023年2月	関西地区輸入食品登録検査機関懇談会	関西地区輸入食品登録検査 機関懇談会
2023年2月	令和4年度飲料水検査技術研修会	(一社)全国給水衛生検査協会

○ 健診関係

実施年月	テ ー マ	主 催
2022年4月	第78回近畿消化器内視鏡技師学会	(一社)日本消化器内視鏡技師学会 (一社)近畿消化器内視鏡技師学会
2022年6月	第2種作業環境測定士登録講習会	関西労働衛生センター
2022年7月	第47回学術集会	(一社)日本超音波検査学会
2022年7月	第1種作業環境測定士(有機)登録講習会	関西労働衛生センター
2022年7月	第142回医用超音波講義講習会	(一社)日本超音波検査学会
2022年7月	腹部超音波検査研修会	全国労働衛生団体連合会
2022年7月	第6回 advanced breast conference	シーメンスヘルスケア株式会社
2022年7月・8月	胃部X線検査研修会(精度管理コース)	全国労働衛生団体連合会
2022年8月	大阪消化管撮影技術研究会 特別講演会	大阪消化管撮影技術研究会
2022年8月	胸部X線検査研修会(精度管理コース)	全国労働衛生団体連合会
2022年9月	日本医師会 医療事務学習会	日本医師会 ORCA 管理機構
2022年12月	特殊健康診断研修会	全国労働衛生団体連合会
2022年12月	ナッジ倫理と行動経済学に基づく健康づくりの実践	日本文化振興会
2022年12月	作業環境測定士(個人サンプラー)講習会	関西労働衛生センター

○ 総務・庶務・情報システム関係

実施年月	テ ー マ	主 催
2022年4月	LEADERS Online セミナー	Sansan 株式会社
2022年10月	Sky株式会社 ソリューションフェア 2022	Sky株式会社
2022年11月	IT Solution Forum 2022 セキュリティ DAY	キヤノンシステムアンドサポート株式会社
2022年11月	IT Solution Forum 2022 インボイス・電帳法 DAY	キヤノンシステムアンドサポート株式会社
2022年12月	Sky Technology Fair Virtual 2022	Sky株式会社
2023年1月	<対談> DX 推進政策の最新動向	JAPAN IT WEEK 関西

V 総務・庶務・情報関係

1 会議

(1) 定時総会

第59回定時総会 2022年6月4日（於 本社屋 2階会議室）

第1号議案 2021年度事業報告及び決算の承認を求める件

第2号議案 報告事項

(1) 2022年度事業計画

(2) 2022年度収支予算

第3号議案 役員人事の件

任期満了に伴う役員改選について

第4号議案 その他

(1) 新会員承認の件

(2) その他協議事項

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

(2) 定例理事会

1) 予算理事会 2022年3月17日（書面による決議の省略）

第1号議案 2022年度事業計画案について承認を求める件

第2号議案 2022年度予算案について承認を求める件

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

2) 決算理事会 2022年5月19日（書面による決議の省略）

第1号議案 2021年度事業報告及び決算報告、公益目的支出計画
実施報告の承認

第2号議案 定時総会の招集の決定

第3号議案 役員人事の件

上記、各議案は慎重協議の上、可決承認された。

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、一般社団法人及び一般財団法人に
関する法律第96条及び定款第42条に基づき書面による決議の省略に変更した。

(3) 常勤理事会 開催12回

(4) 各種内部会議として、管理者会議（12回）、臨床品質システム（QMS）委員会（12回）、健診品質システム（QMS）委員会（12回）、安全衛生委員会（12回）、情報保護管理委員会（12回）を開催した。

2 業務監査等

- (1) 食品登録検査機関に係る立入検査
 - ・2022年5月25日 近畿厚生局健康福祉部食品衛生課
- (2) 水道GLP更新審査
 - ・2022年7月14日～15日 水道GLP認定事務局
- (3) 京都府環境管理課の公水分析委託業務に係る立入調査
 - ・2022年7月22日 京都府府民環境部 環境管理課水質係
- (4) 計量証明事業者に対する立入検査
 - ・2022年11月4日 京都府計量検定所
- (5) 京都労働局
 - ・2022年12月13日 作業環境測定機関立入検査

3 施設・設備及びIT関連システムの整備拡充

- (1) 設備関連
臨床検査関係

設置年月	機器名称・台数	設置場所
2022年9月	卓上遠心機	本部ブランチラボ
2022年12月	多項目自動血球分析装置 2台	本部ブランチラボ

環境分析関連

設置年月	機器名称・台数	設置場所
2022年3月	分光光度計 1台	本部ラボ計量室 1
2022年3月	電動ビュレット 2台	本部ラボ計量室 1 及び COD 室
2022年4月	オートアナライザー 1台	本部ラボ環境検査室
2022年4月	水銀分析装置 1台	本部ラボ機器室 2
2022年4月	全自動酸分解装置 1台	本部ラボ酸ドラフト室
2022年5月	イオンクロマトグラフ 1台	本部ラボ環境検査室
2022年7月	ガスオートサンプラー 1台	本部ラボ機器室 1
2022年8月	定温乾燥器 1台	本部ラボ計量室 1
2022年9月	冷蔵庫 1台	本部ラボ計量室 1

(2) IT関連の整備

その他

設備名等	設置場所
EMR（電子カルテ）連携到着確認システム新規設置	クリニック 11 施設
臨床検査オーダリングシステム新規設置	クリニック 1 施設
臨床検査装置システム連携	ブランチラボ 5 施設
付属診療所電子カルテネットワーク設備	本部付属診療所
所内ADサーバ更新	本部
本部・福知山支所間バックアップ回線敷設	本部
細菌システム更新	本部、福知山支所

(3) 主要機器保有状況

1) 臨床検査関係

No.	種 別	台 数
1	全自動免疫分析装置	5
2	生化学自動分析装置	23
3	免疫学的便潜血自動分析装置	2
4	全自動血糖測定装置	4
5	電気泳動装置（半自動）	1
6	全自動血液分析装置	22
7	分光光度計	2
8	全自動輸血検査装置	3
9	全自動リアルタイム PCR 測定装置	5
10	ビリルビン測定装置	2
11	安全キャビネット	6
12	検体前処理装置	2
13	血液ガス分析装置	12
14	尿定性分析装置（半自動）	9
15	自動凝固測定装置	12
16	自動試薬調整装置	3
17	全自動血液標本作成装置	4
18	尿中有形成分分析装置	1
19	全自動赤血球沈降測定装置	2
20	デジタル臨床屈折計	1

21	全自動蛋白分画分析装置	1
22	全自動分注装置	2
23	全自動チップ整列機	1
24	上皿電子分析天秤	1
25	電子天秤	1
26	グリコヘモグロビン分析装置	9
27	全自動血液培養検査装置	1
28	自動細菌同定感受性装置	1
29	自動感受性薬剤プレート分注機	2
30	自動 MIC プレート分析装置	1
31	自動検尿装置	7
32	蛋白質分析装置	1
33	簡易濁度計	1
34	血中アンモニア測定装置	3
35	胸痛マーカー・心筋マーカー定量迅速測定装置	1
36	検体搬送システム	1

2) 環境衛生関係

No.	種 別	台 数
1	I C P - M S	1
2	I C P 発光分光分析装置	1
3	イオンクロマトグラフ	2
4	オートアナライザー	2
5	ガスクロマトグラフ	3
6	高分解能ガスクロマトグラフ質量分析計	1
7	ガスクロマトグラフ質量分析計	4
8	高速液体クロマトグラフ	3
9	ポストカラム-イオンクロマトグラフ	1
10	高速液体クロマトグラフ質量分析計 (LC - MS)	2
11	分光光度計	1
12	p H 計	4
13	電子天秤	7
14	原子吸光光度計	1
15	水銀分析装置	2
16	T O C 計	2
17	色度・濁度計	3

3) 健診検査関係

No.	種 別	台 数
1	胸部X線デジタル検診車	3
2	胃部X線デジタル検診車	2
3	診療所設置 胸部X線撮影装置	1
4	診療所設置 胃部X線撮影装置	1
5	診療所設置 マンモグラフィ装置	1
6	診療所設置 放射線画像処理装置	1
7	全自動身長体重計	8
8	デジタル身長体重計	2
9	自動尿検査装置	5
10	視力計	9
11	V D T 近点計	2
12	自動血圧計	7
13	解析付心電計	13
14	聴力計 オーディオメーター	7
15	肺機能 スパイロメーター	1
16	眼圧計	1
17	眼底カメラ	2
18	超音波装置 (エコー)	3
19	内視鏡カメラシステム (スコープ3台経鼻用)	1
20	遠隔画像読影システム一式	1
21	超音波骨密度装置	1
22	画像クラウドシステム一式	1

4 組織

4月11日、7月11日、10月11日付けで、責任体制の明確化及び業務効率化のため、人事異動を実施した。

1) 組織図 (別紙1)

2) 資格者一覧

(2023年3月31日現在)

資格名称	人数	資格名称	人数
医師	2	簡易専用水道検査員	10
看護師	2	臭気判定士	2
薬剤師	1	水質一種公害防止管理者	3
診療放射線技師	4	ダイオキシン類公害防止管理者	6
臨床検査技師	67	水道技術管理者	1
衛生検査技師	2	危険物取扱者	3
臨床工学技士	1	日本糖尿病療養指導士	1
緊急臨床検査士	1	管理栄養士	2
認定輸血検査技師	2	栄養士	4
二級臨床検査士 血液学	3	第一種衛生管理者	22
二級臨床検査士 臨床化学	1	毒物劇物取扱管理者	3
一般臨床検査士	5	医療情報技師	1
環境計量士	6	情報処理技術者	9
第一種作業環境測定士	3	日医 IT システム主任者	4
第二種作業環境測定士	3	日医 IT インストラクター	5
浄化槽検査員	9		

3) 一般社団法人 京都微生物研究所 役員名簿

(2023年3月31日現在)

役職名	氏名	所属
理事長	大藪 正樹	一般社団法人 京都微生物研究所
専務理事	小林 敦司	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	奥村 勲	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	清水 圭子	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	宮本 昌信	一般社団法人 京都微生物研究所
理事	津田 治巳	一般社団法人 京都微生物研究所 附属診療所 所長
理事	中村 政弥	元中村医院 院長
理事	岩田 征良	岩田医院 院長
監事	辻 貞旨	公認会計士 辻貞旨事務所

5 会 員

(1) 会員の異動状況報告

会員数は2022年4月1日時点で477名であった。会員の加入促進を図ったが、この期間は10名の入会者に対し、退会者は25名であった。従って2023年3月31日現在の会員数は462名となった。

2022年4月1日～2023年3月31日

入会者 10名 (新規開業等 6名)

退会者 25名 (閉院等 16名)

物故 4名

(2) 環境衛生関係会員数

1) 会員数 174件

2) 市町村 33件

2023年度事業計画書

自 2023年4月 1日

至 2024年3月31日

一般社団法人京都微生物研究所は、地域社会における公衆衛生の向上及び地球環境保全等に寄与するため、保健衛生及び環境衛生に関する試験検査、調査研究を実施し、もって地域住民の健康増進及び福祉の向上、更には地域の環境保全に貢献することを目的として事業を展開している。

近年では京都府のみならず滋賀県、兵庫県においても臨床検査事業・環境衛生事業・健康診断事業・公衆衛生事業の市場拡大を図ってきた。

以下に2023年度の事業計画の基本方針を示す。

1 臨床検査事業

臨床検査業界では、以前より吸収合併が活発化し業界の取れんが進んでいる。物価高による検査材料や消耗品の値上がり、医療コンサルタント参入による低価格競争も常態化している。

2022年度においても、新型コロナウイルス感染症の蔓延により新型コロナウイルスPCR検査は顕著に増加した。2023年5月より2類感染症から5類感染症相当への引き下げが決定しているが、新型コロナウイルス感染症の流行によりDX化が急加速し、流行前の状態には戻らず医療情勢は大きく変化することが予想される。

年度内刷新予定の検査結果Web参照システム及び、医療機関と患者とのコミュニケーションツールである「MeDaCaPRO」の対応を含め、臨床検査結果に係るシステムサービスを充実させる。検査依頼においてもオーダリングシステム導入を推し進め、医療機関の検査関連DX化に寄与し顧客満足度向上に努める。

検査ラボ新築により高機能化した検査ラインの有効活用化のため、福知山支所の検査業務見直しを含め、より無駄のない検査体制を構築する。

福知山支所においては、北近畿地区では数少ない新型コロナウイルスPCR検査実施機関であり、またへき地医療への貢献も考慮し、事業を継続する。

豊岡支所は開設後、同地区において希少な検査ラボとして一定の効果は出ている。稼働率を上昇させ、より一層地域医療の支援を行う。

2 環境衛生事業

中期事業計画の最終年度として2023年度の事業計画は、事業戦略の1つである「発展的縮小による安定した収益性」に基づき、本年度も継続して事業規模縮小による業務効率化及び安定化、営業利益の向上を掲げ、水道水質検査を主体とした事業運営を展開する。

本事業では、京都府全域及び近隣他府県の水道水質検査事業の拡充に向け、2023年4月、厚生労働省水道法第20条に定める登録水質検査機関として福知山支所細菌検査室を登録、より機動性の高い検査体制の構築、顧客の満足度向上に努めるとともに市場拡大を図る。

また、積極的に同業他社とのアライアンスに取り組み、農薬をはじめとする管理目標検査受託件数の増加に努める。

業務改善としては、2022年より導入した基幹システムと分析機器との連携や事務業務のシステム化及びデジタル化を促進させ、「スマートビルドアップ」を実現する。

それらにより、検査・作業の効率化や検査員の業務時間の短縮を図り、人材育成や技術継承を充実させ、組織基盤の強化、生産性の向上に繋げるほか、迅速かつ精確な検査の実施、安定的で高品質な技術データの提供に取り組む。

3 健康診断事業

中期事業計画における重点施策となっている健診事業の拡大について以下の計画により目標達成となるよう事業を進めていく。

滋賀県に巡回健診の拠点となる出張所を設けた事により、県内での巡回健診の充実を目指す。行政、学校関係の入札は積極的に応札する。また、企業健診においては、既に他の健診機関と契約されている事業所が多い中、当所の強みである検査と特殊健診の対応をPRし顧客獲得を目指す。

来所健診においては、健診予約専門の営業担当を設け、新規顧客及びリピーターの確保・拡大により収益増を目指す。午前ドック、午後定期健診の体制を確立し、受診者増に努める。検査ラボ新築により、午前ドック受診者に対し即日に血液検査結果を説明出きる体制を整える。

3Dマンモグラフィ導入による婦人科検診の充実、胃部内視鏡検査の検査受入れ数増加により、ドック健診の更なる充実を目指す。また、保健指導、栄養指導等を強化し、二次精密医療機関との連携を深め受診者の満足度を高める。

保険診療事業においては、健康診断の二次診察や精密医療機関との連携等で受診者の健康増進に貢献する。健康診断から診療の流れを確立し医療機関としての責務を果たす。

乳がん検診施設認定の取得を目指し、精度管理向上と受診者増に尽力する。

4 公衆衛生事業

新型コロナウイルス感染症の流行により宿泊業・飲食業・学園祭関連による検査数の減

少など、公衆衛生関連市場は縮小傾向にあったが、新型コロナウイルス感染症の流行収束後のインバウンド回復後には再び市場が大きく動くことが予想される。改めて衛生管理の必要性かつ重要性を提唱し、市場拡大に努める。

保菌検査については、A I - O C R 導入による受付業務のシステム化、W e b での結果閲覧システム R e m - o n の利用促進による成績発行業務の省力化を推進する。

学童・学校検尿検査については集荷・検査受託体制を強化し、品質保証に努める。

先に掲げた当法人の2023年度の事業計画を遂行、達成するため、また当法人を円滑に運営するために以下の事項を施策とする。

1 法律に基づく試験、検査等

- (1) 「臨床検査技師等に関する法律」に基づく登録衛生検査所として、登録及び指定を受けている下記の検査、試験等の促進を図る。
 - ・微生物学的検査
 - ・免疫学的検査
 - ・血液学的検査
 - ・病理学的検査
 - ・生化学的検査
 - ・尿・糞便等一般検査
 - ・遺伝子関連・染色体検査
- (2) 「計量法」に基づく環境計量証明事業所として、濃度（水質、大気、土壌）、音圧レベルの計量証明
- (3) 「食品衛生法」に基づく食品衛生登録検査機関として食品中の各種細菌、栄養成分、添加物、器具・容器包装等の試験検査
- (4) 「水道法」に基づく水質検査登録機関として水道水の水質検査
- (5) 「水道法」に基づく簡易専用水道検査登録機関として貯水槽水道の施設維持管理検査
- (6) 「浄化槽法」に基づく浄化槽法定検査指定機関として浄化槽の水質に関する検査
- (7) 「作業環境測定法」に基づく作業環境測定登録機関として作業環境測定
- (8) 「労働安全衛生法」に基づく定期健康診断及びストレスチェック検査
- (9) 「高齢者医療確保法」に基づく特定健康診査、特定保健指導
- (10) 「学校保健安全法」に基づく健康診断、学童検尿検査
- (11) 「健康増進法」に基づく各種がん検診
- (12) 「労働者災害補償保険法」に基づく労災二次健康診断
- (13) 「公衆衛生法」に基づく伝染病及び疾病の予防に関する検査
- (14) 「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づく腸管出血性大腸菌検査

2 講習会、講演会、研修会の開催

- (1) ホームページの掲載内容の更新により検査に係る情報を整理するとともに、情報誌「Medical News」「臨床検査ニュース」及び「問合せQ&A」の発行部数及び掲載内容の充実を図り、臨床検査全般における最新の医療について解説・理解のための情報提供を行う。
- (2) 医療機関からの要望に応じ、トピックとなる事例等について報告し研修会、講習会を開催する。
- (3) 新しい知見や技術を収集するとともに、それらを伝え広める力を養い、更なる検査精度の向上を図り、質の高い臨床検査を提供していく。
- (4) 健診事業を通して地域住民の健康に寄与する。

3 行政、各種団体及び研究会への協力

- (1) 一般社団法人の公益事業として、過疎地域自立促進特別措置法で認定されている京都府北部のへき地医療を支え、協力する。
- (2) 京都府内をはじめとして国内全体において、医療等に関わる事件等が発生した時には、府民の健康被害を防止するため、行政機関の協力要請に応ずる。
- (3) 関係する団体、研究会及び行政の委員会に委員として協力し、その円滑な運営を支援することにより団体、研究会及び行政の委員会の健全な発展に寄与する。

4 品質保証体制の強化充実

- (1) 関連学会、講習会に参加し臨床検査、分析試験の品質保証に係る情報を入手する。
- (2) 外部精度管理への積極的参加、内部精度管理の実施頻度強化、ブランチラボにおける検体検査の精度の確保と強化を図り、現状の検査・分析技術を再確認、改善し、より一層の精度向上を図る。
- (3) ISO15189に基づく検査所認定について、検査所としての品質と能力に関する特定要求事項の適合性評価を受け、臨床検査室に根ざした品質保証体制の適正な運用を図る。
- (4) 各種法律に基づく登録・指定要件（食品GLP等）の維持、品質向上（内部点検並びに内部監査の充実）に努め、品質保証体制の強化に努める。
- (5) 水道GLP（2018年3月20日認定取得）に従って構築した検査体制の充実を図り、品質保証体制の強化に努める。
- (6) 計量証明事業においても水道GLPの要求事項に沿った品質保証体制の強化を図る。
- (7) 全国労働衛生団体連合会による健診機関の認定（労働衛生サービス機能評価）に基づき、健診事業の品質方針・品質目標の徹底、SOPの整備、精度管理の充実を図り、品質保証体制の維持向上に努める。

- (8) I S M S (情報セキュリティマネジメントシステム) 認証に基づき、情報セキュリティの危機管理の徹底、情報漏洩、外部からの脅威等に対して適切な体制と運用を図る。

5 総務庶務関係

- (1) 法人法及び整備法を遵守し一般社団法人としての運営を進める。
- (2) 理事会、常勤理事会、管理者会議を定期的に開催する。
- (3) 監事による監査を随時実施する。
- (4) 会計監査を定期的実施する。

6 施設・設備の拡充

本部ラボ、南ラボ、福知山支所、付属診療所、豊岡支所における分析・検査機器及び設備の適切な維持管理、必要に応じて改善（更新）を行い、検査体制の強化と更なる効率化及び検査・分析試験の精度向上を図る。

7 I C T (Information and Communication Technology) の活用

- (1) I C T を活用し、顧客サービスの向上、検査精度の向上、ワークスタイル変革（働き方改革）による業務効率化を推進する。
- (2) 昨今のサイバー攻撃の実情を踏まえ、セキュリティ対策を施す。

8 組織の整備

顧客サービスの更なる向上と、検査・分析試験の精度向上及び業務の効率化を目的とし、法人運営に相応しい組織を構築する。